

# 北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」とは

独立行政法人北方領土問題対策協会

船舶「えとぴりか」は、国の「四島交流等の実施及び後継船舶の確保に関する方針」に従って建造され、平成24年度から供用が開始されました。

北方領土の問題を平和的に解決するためには、日本人と北方領土に住むロシア人がお互いに理解し合うことが大切だということから、日本とロシア政府で合意して、旅券（パスポート）・査証（ビザ）なしで相互を訪問する「ビザなし交流」や元島民とその家族が故郷を訪れる「自由訪問」が行われています。

「えとぴりか」は、この事業に使用される船舶であり、主に北海道根室市と北方四島を行き来する旅客船です。



船名の「えとぴりか」は全国の皆さんからの公募で決まりました。北方四島と北海道本島を自由に行き来する海鳥「エトピリカ」の姿が交流等事業のイメージと重なることから名づけられました。

北方領土イメージキャラクター  
エリカちゃん(右)・エリオくん(左)

船名	えとぴりか
総トン数	1,124トン
全長	66.51m
旅客定員	84名
航海速力	15ノット
所有者	(株)マリン・アドベンチャー